

三河の田楽 鳳来寺田楽

鳳来寺田楽の歴史と由来

昔、鳳来寺山に青、赤、黒の三つの鬼が住んでいて、利修仙人を守っていましたが、仙人入定の時、将来この山の守護神となるよう因果を含めて三鬼の首を切って本堂の下に埋めた。その供養のため、毎年正月の3日と14日の二日、田楽を奉仕してその霊を慰めることとしたと記録されている。

鳳来寺田楽は他の田楽と違い、里俗の人達が集まって寺のために奉仕するのではなく、鳳来寺が扶持を与えて田楽衆に奉仕させたのである。これが寺田楽といわれる所以である。その仕様も田遊びの行事のみでなく、60余州の平安を祈り天下泰平国家万民のための祈願にまで拡大されている。ここに鳳来寺田楽の特色があるといわれる。

一見、乱れたもののように見えるのであるが、最も古い時代の舞の形、外国から伝わった踊りの姿などが所々に残っているのを見ることができるといわれている。

交通案内



公共交通機関 JR飯田線本長篠駅より
豊鉄バス鳳来寺バス停下車で徒歩45分

お車の場合 豊川ICより国道151号で60分

市内指定無形民俗文化財公開一覧

名称	場所(市内)	期日
黒沢田楽	七郷一色字黒沢	2月第1日曜日
鳳来寺田楽	門谷字鳳来寺	1月3日
大海の放下	おみみ 大海	8月14、15日
布里の放下	ふり 布里	8月15日
一色の放下	一色	8月14日
塩瀬の放下	しよせ 塩瀬	8月15日
名号の放下	なごう 名号	8月14日
方瀬・真菰はねこみ	かたせ 運合	8月14日
身平橋はねこみ	四谷	8月13、14日
信玄原の火おんどり	竹広	8月15日
乗本万灯	乗本	8月15日
鍋づる万灯	市川	8月15日
能登瀬のしかうち	能登瀬	4月中～下旬日曜日
富永神社祭礼能(能・狂言)	宇宮ノ後 (富永神社)	10月初旬金曜日
山ノ神年占(小畑のおためし)	小畑	旧暦11月初申に近い日曜日
名越神楽	名越	10月第3土・日曜日
十二所神社の神楽	作手高里	10月第3日曜日
天王祭	一嶽田	8月上旬日曜日
白鳥神社祭礼(お練り唄・神代おどり・三番叟)	作手田原	10月第4日曜日
大室神社の奉射神事	上吉田	4月第1日曜日
新城歌舞伎	新城文化会館	11月下旬

問い合わせ先

新城市教育委員会

〒441-1392 愛知県新城市字東入船6-1
電話 0536-23-7655

鳳来寺田楽

国指定重要無形民俗文化財



新城市教育委員会